

株式会社 松屋 2020年8月上報告

1. 店舗別 売上高概況 (単位: %)

	売上高	入店客数
① 銀座本店	-35.6	-49.3
② 銀座店	-36.7	-58.0
③ 浅草店	-18.9	-34.7

① 銀座本店 : 「銀座本店」の数値は「銀座店」と「浅草店」両店計の売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ② 銀座店 : 「銀座店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。
 ③ 浅草店 : 「浅草店」のみの売上高対前年増減率を表記いたしております。

2. 売上高対前年増減率推移 (単位: %)

	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
銀座本店	17.2	-20.1	-0.9	-1.3	1.8	-31.5	-40.3	-91.3	-91.9	-35.8	-38.5	-35.6
松屋銀座	18.4	-20.4	-0.8	-1.5	2.0	-32.4	-40.7	-91.4	-91.3	-37.2	-40.0	-36.7
松屋浅草	-0.9	-15.0	-2.5	1.1	-2.0	-15.3	-34.2	-88.4	-99.7	-18.3	-17.3	-18.9

3. 店舗別商況

銀座店	8月の銀座店は、免税を除く売上高(国内のお客様の売上高)において、秋物新作入荷でラグジュアリーブランドの売上高(前年対比約2割増)が牽引し、その結果、インバウンドを除く売上が前年に対して約1割減にまで迫る勢いを見せる等、強みの商品カテゴリーにおける買上動向に多少の変化が見られました。加えて、外商(法人営業部)では、金製品やテレビ通販での大口特注により売上高が前年に対し2.2倍の大幅な伸びを示す等、店頭外部の売上も館全体を加勢いたしました。しかしながら、化粧品、宝飾・時計等を軸とした前年のインバウンドの売上高が全体に大きく影響し、また、8月のクリアランスセールも1割減になる等が要因となり、全体の売上高は前年を下回りました。
浅草店	8月の浅草店は、主力となる食品がやや苦戦する中、化粧品の特注が全体を強く牽引し、売上高減は銀座店に比べ軽微に留まりました。

4. 商品別売上高対前年増減率 (単位: %)

	銀座本店	松屋銀座
紳士服・洋品	-29.4	-29.4
婦人服・洋品	-35.2	-35.7
子供服・洋品	-56.6	-56.6
呉服寝具他	-31.7	-33.3
衣料品計	-34.8	-35.3
身廻り品	-40.7	-40.7
雑貨	-53.3	-55.6
家具	42.9	44.0
家電	-15.6	-16.8
家庭用品	-25.8	-25.6
家庭用品計	7.3	7.5
食料品	-25.4	-26.1
食堂・喫茶	-55.1	-55.9
サービス、その他	-3.7	-3.1
合計	-35.6	-36.7

※「2020年9月上速報」は、10/1(木)15時の開示を予定しております。

お問い合わせ先 株式会社 松屋 総務部 コーポレートコミュニケーション課
 TEL(03)3248-8311 / FAX(03)5550-9639